

丹波の森の恵みと再生のあり方を学ぼう!!

【プロジェクトの特徴】

このプロジェクトは、丹波の森公苑にて小学生向けに開催している「縄文の森塾」のアドバンスコースとして、高校生や大学生などを対象として、丹波の森を見守る次世代チャレンジャーの育成を目的としています。

森と動物と人間は、かつては相互に依存し合っていましたが、現在そのバランスが崩れています。そのため、森を健全に持続していくためには、かつての相互依存関係の仕組みや、「食べる」などの森の恵みを学び直すことが大切です。

森と野生動物との関係を調べるには、様々な知識と技術を駆使することで、見えにくい関係を探ることができます。本講座では、昔ながらの調査手法に加えて、センサーカメラ、ICTを用いた捕獲方法など新しい調査技術も学ぶことができます。

期 間 令和5年6月～12月

対 象 中学生、高校生、大学生、社会人など
おおむね30歳前後ぐらいまで

場 所 丹波の森公苑
兵庫県丹波市柏原町柏原5600

参加形態 通年参加(先着20名)
(●印は個別に参加できるプログラムを示す)

【講座の内容】

- 6月18日(日)** 「全体ガイダンス」担当：上甫木 昭春
午前座学「森の成り立ちと植物の見分け方」担当：藤木 大介 (●個別参加可能)
午後実習「検索図鑑を用いた樹木の同定」担当：藤木 大介
- 7月1日(土)** 午前座学「森が有する現代的役割を考える」担当：上甫木 昭春 (●個別参加可能)
- 8月4日(金)** 午前座学「野生動物の生息状況の調査方法」担当：高木 俊 (●個別参加可能)
午後実習「センサーカメラの設置」担当：高木 俊
- 8月19日(土)** 午前座学「シカ問題を『食べる』から考える」担当：横山 真弓 (●個別参加可能)
午後実習「ジビエ料理の体験と試食」担当：山本 明弦 他 (●個別参加可能 ※参加費2,000円、先着10名)
- 9月16日(土)** 野生動物の捕獲と食資源化について
午前実習「野生動物(シカ)の捕獲体験」担当：横山 真弓
午後見学「野生動物(シカ)の処理施設(株)丹波姫もみじ」担当：横山 真弓・藤本 裕昭
- 10月7日(土)** 終日実習「丹波の森公苑の昆虫相の大捜査」担当：八木 剛 (●個別参加可能)
- 10月15日(日)** 午前座学「シカの食害による植生の変化を理解する」担当：藤木 大介
午後実習「丹波の森公苑内での影響の現状と対策」担当：藤木 大介
- 10月21日(土)** 終日実習「林内散策と秋の森を食べる」担当：石田 弘明 (●個別参加可能 ※参加費500円、先着10名)
- 11月4日(土)** 午前実習「センサーカメラの回収と設置場所周辺の動物の痕跡の記録」担当：高木 俊
午後実習「撮影された動画の確認と集計」担当：高木 俊
- 12月16日(土)** 発表会と講評：「丹波縄文の森フェノロジーカレンダーの提案」
「丹波の森の目標(STGs)の提案」、「森の資源を活用した料理」等 担当：上甫木 昭春 他

申し込み方法

裏面の受講申込書にご記入の上、丹波の森公苑2階事務局窓口までご持参または
FAX.0795-72-5164へ送信してください。

右記のQRコードを読み取り、お申し込みフォームからお申し込みいただけます →



締切

6月14日(水)

講師紹介 (登場順、敬称略)

上甫木 昭春 (カミホギ アキハル) ▶ 6/18、7/1、12/16

博士(学術)。大阪府立大学名誉教授。公益財団法人兵庫丹波の森協会 丹波の森研究所特任研究員。専門は緑地計画学、地域生態学。地域の自然と歴史を手掛かりに、健全な地域環境の形成のあり方を探る調査研究に取り組んでいる。

藤木 大介 (フジキ ダイスケ) ▶ 6/18、10/15

博士(農学)。兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授。兵庫県森林動物研究センター主任研究員を兼務。専門は森林生態学。植物と動物(主にニホンジカ、ツキノワグマ)の関係を解明することで、よりよい生態系の管理のあり方を模索している。

高木 俊 (タカギ シュン) ▶ 8/4、11/4

博士(農学)。兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 准教授。兵庫県森林動物研究センター主任研究員を兼務。モニタリングデータの分析からシカやツキノワグマなどの野生動物の個体群動態の推定を行い、動物の生息状況把握や適切な個体数管理にむけた研究を行っている。

横山 真弓 (ヨコヤマ マユミ) ▶ 8/19、9/16、12/16

博士(獣医学)。兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授。兵庫県森林動物研究センター研究部長を兼務。専門は野生動物管理学。主に人と軋轢の多いツキノワグマ、ニホンジカ、イノシシを対象に行動特性や栄養状態に関する研究を行い、人と野生動物の共存に向けた仕組みづくりを行っている。

山本 明弦 (ヤマモト メイゲン) ▶ 8/19

小学6年生～高校卒業まで丹波市柏原町在住。篠山産業高校在学中にボクシングでインターハイに2年連続出場。秘めたる思いもあって料理人の道へと進むも、22歳の時心臓発作で倒れ、闘病生活を送る。2000年には東京新宿でフランス料理店「りんごの絆」を開店。現在は、食プランナーとして、ふるさと丹波では、「農家とフレンチシェフ丹波テロワール」などのイベントを開催している。

藤本 裕昭 (フジモト ヒロアキ) ▶ 8/19、9/16

NPO法人里山グリーンネットワーク。専門学校を経て調理師として飲食業界に従事。後に地元山南町で開業した焼き鳥店のメニューに(株)丹波姫もみじの鹿肉を取り入れたことがきっかけとなり、現在はNPO活動として鹿の有効活用、並びに鹿肉普及に取り組む。

八木 剛 (ヤギ ツヨシ) ▶ 10/7

兵庫県立人と自然の博物館 主任研究員。ホタルやトンボを題材に、昆虫類の分布パターンとその成立要因に関する調査研究をしてきたが、あるとき、豊かな自然環境を次代に継承するには今を生きる人と同時に次世代を生きる人の育成が大切であることに気づき、近年はもっばら昆虫少年の健全育成、幼児を対象とした体験プログラムの開発に取り組んでいる。

石田 弘明 (イシダ ヒロアキ) ▶ 10/21

博士(農学)。兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 教授。兵庫県立人と自然の博物館の副館長・研究部長を併任。専門は植生学。照葉樹林、夏緑樹林、里山林、湿原、半自然草原などの生物多様性とその保全・再生・創出に向けた研究を行っている。絶滅が危惧されている野生植物の保全生態学的研究にも取り組んでいる。

令和5年度 たんばユース躍動プロジェクト 受講申込書

令和5年 月 日

| | | | | | | | |
|---------------------------------------------------|----------------------------|-----------------------------------------|----------------------------|--------------------------------------|-----|----|---|
| ふりがな | | | | 性別 | 男・女 | 年齢 | 歳 |
| 氏名 | | | | | | | |
| 住所 | 〒 - | | | | | | |
| 電話番号 | () - | FAX | () - | | | | |
| 希望講座 全講座または 個別講座の 該当する【 】内に ○をつけてください | 【 】全講座 (参加費:2,500円) | 【 】6/18(日)午前 (担当:藤木 大介) | 【 】7/1(土)午前 (担当:上甫木 昭春) | 【 】8/4(金)午前 (担当:高木 俊) | | | |
| | 【 】8/19(土)午前 (担当:横山 真弓) | 【 】8/19(土)午後 (担当:山本 明弦 他、参加費:2,000円) | 【 】10/7(土)終日 (担当:八木 剛) | 【 】10/21(土)終日 (担当:石田 弘明、参加費:500円) | | | |

締切: 6月14日(水)

※ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、当事業のみで使用します。